

### 第三章 科学が宗教になる

#### A 言語事項

1 傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① 建設計画のワクグみ<sup>ワクグミ</sup>が公表された。「**枠組**」
- ② チンプな言葉を並べたてる。「**陳腐**」
- ③ オモワクとはかけ離れた結末。「**思惑**」
- ④ 資格試験にチヨウセンする。「**挑戦**」
- ⑤ シコウの一品を手に入れる。「**至高**」
- ⑥ ヤバンな行為に及ぶ。「**野蛮**」
- ⑦ 物質同士をユウゴウさせる。「**融合**」
- ⑧ 自然のセツリに対する理解を深める。「**摂理**」
- ⑨ ゴパンの目のように縦横に交わる線。「**格子**」
- ⑩ コウシをとりつけた板戸を<sup>しとみ</sup>蒔<sup>ま</sup>きという。「**合致**」
- ⑪ 二人の意見がガツチした。「**代替**」
- ⑫ バスによるダイタイ輸送を行う。「**代替**」

2 次の語句の意味を記しなさい。

① 破天荒	「 <b>破天荒</b> 」
② 条例	「 <b>条例</b> 」
③ 概念	「 <b>概念</b> 」
④ 座標系	「 <b>座標系</b> 」

地方公共団体が自治権に基づいて議会の議決に基づき制定する法。

物事の大まかな意味内容を座標を定める基準をよさるもの総称。

世帯化 調べてみよう

融合 摂理 格子 合致 代替

#### B 構成

キーワード…… **ヨーロッパ近代** **脱キリスト教** **自然** **コスモス** **価値勾配**

中心段落…… 第II 段落

① 一八世紀以降のヨーロッパ近代 キリスト教 P.79 ~ P.80 P.82

② ヨーロッパの歴史II ① キリスト教 という基本の枠組みの中

脱① **キリスト教** 化 (＝世俗化) を実行に移す必然

伝統と考えられる基本の枠組みを② **破壊**

解説をアップ予定です。 解答編も有効活用を!!

② 一八世紀以前のヨーロッパ 「自然」 P.80 P.83 ~ P.80 P.88

「神の③ **作品**」と考えられた

④ **神の御業** (＝日本語では「不可抗力」が制御)

③ 一八世紀の「脱キリスト教化」 P.80 P.89 ~ P.88

「自然」であることへの⑤ **人間の挑戦**

④ **神の御業** の上に「人間」を置く

④ **神の御業** (＝日本語では「不可抗力」が制御)

③ 一八世紀の「脱キリスト教化」 P.80 P.89 ~ P.88

④ ⑥ ネルトリンゲン P.81 ~ P.83 P.83

⑥ **中世** の都市 ※成立時期

⑦ **円形** の城壁

中心部ー辺境に構造上の⑧ **価値勾配**

⑨ **コスモス**

読んで 考えてみよう

空間では

⑦ ⑩ ニューヨーク P.83 P.84 ~ P.84

⑩ **一八世紀以降** の都市 ※成立時期

⑪ **基盤目** 構造・座標系

⑧ **価値勾配** は全く存在しない

空間の中立化・中性化

⑪ 近代の⑫ **人間中心** のイデオロギーを唯一超越するもの＝科学

解答例

1年 組 番 氏名



解読(20)3

# 第七章 超国家アメリカ

一年組

番氏名

## A 言語事項

1 傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① フヘン的な理論を構築する。 [普遍]
- ② 技術の発展により生活がサツシンされた。 [刷新]
- ③ 古くさいシュウソクを捨て去る。 [習俗]
- ④ 学力向上のキバンは規則正しい生活である。 [基盤]
- ⑤ 同じ人間であることをゼンテイとして話し合う。 [前提]
- ⑥ 地球以外に生命体の住むワクセイは存在するか。 [惑星]
- ⑦ 他人の思想やシンジヨウに触れてはならない。 [信条]
- ⑧ 熱を加えると激しくポウチヨウした。 [膨張]
- ⑨ 病気が生活態度を改めるケイキになった。 [契機]
- ⑩ 僕の生き方にカンシヨウしないほしい。 [干渉]
- ⑪ 前の車はムボウな運転をしている。 [無謀]
- ⑫ 気体は自然とカクサンする性質がある。 [拡散]

① 擬制	現実の異なるものも同一のものと思なし、法律上同一の顔かたち。
② 相貌	

## B 構成

キーワード…… 普遍主義 ナンゴ 多民族 境界 自由

中心段落…… 第 18 段落

1  
2

アメリカ外交の特徴 ① 普遍主義 的な理念による正当化

アメリカ特有の事情 ② 普遍主義的な制度による多民族・多文化の共存・統合

3  
6

旧世界の帝政 ↓ 専制支配によって各民族の ② ナシヨナリズム を押さえた

アメリカ ↓ ③ 理念を共有 する市民社会が基礎

多様性の統合のために、普遍主義への依存と政治の ④ イデオロギー化 が避けられない。

7  
9

自由な市民という原則による政府 ↓ その社会の ⑤ 外延や境界 は設定できない。

↓ 「人民」の境界も不明確

10  
15

具 テレビ番組『スタートレック』が示していること ↓ ⑥ 開かれた 社会 ⑦ 必然 ではない

アメリカ社会の ⑧ 多元性 のため、アメリカと世界の境界が曖昧になっていること

16  
18

アメリカ ⑨ 自由の空間 を外部に広げること ⑩ 自由の拡大

⑩ 自由の拡大 ・ ⑪ 使命の実現

← 正当化される

C 読解

1 「アメリカほど理念によって対外政策を正当化する政府は珍しい」(二六〇・五)とあるが、アメリカが理念によって外交政策を正当化する理由を、筆者はどのように考えているか、次の空欄に当てはまるように二九字で抜き出して書きなさい。

普遍主義的な制度によって

多文化と多民族の共存と統合を絶えが支え続けなければいけない

から。

2 「ヨーロッパに見られるような古い国民」(二六一・12)とは、どのような「国民」か、二〇字以内で説明しなさい。

言語や習俗を共有する共同体の成員。

3 「その社会」(二六二・8)とは、どのような社会か、簡潔に書きなさい。

自由主義によって定義された政治社会。

4 「この理念」(二六三・3)とはどのような理念か、説明しなさい。

抽象的な「人民」を主体とする、デモクラシーの理念。

5 「このこと」(二六五・6)とは何か、説明しなさい。

エンタープライズ号の乗組員の構成が、アメリカ社会を反映しているのか、世界の反映なのかということ。

6 「アメリカの国境は必然ではない」(二六五・12)とあるが、それはどうしてか、説明しなさい。

現実の世界に多様な価値があり、それをアメリカが認める限り、アメリカと世界には差がないことになるから。

7 「権力を海外に及ぼすことは内政干渉」(二六六・2)だとアメリカが考えないのはなぜか、説明しなさい。

普遍主義による成立しているアメリカの体制は、普遍主義ゆえにすべての世界に適用できるはずだから。

D まとめ

1 要旨(一〇〇字)

民族と異文化の共存と統合を絶えが支え続けなければいけないから。多文化と多民族の共存と統合を絶えが支え続けなければいけないから。多文化と多民族の共存と統合を絶えが支え続けなければいけないから。

(下書き用)

Grid for writing the summary.